

**前回（第6回）の
北海道地方小委員会の議事について**

**平成26年3月5日
国土交通省北海道開発局**

○議題:「北海道の社会経済状況とそれを踏まえた幹線道路ネットワークについて」

・主に次の現状・課題を確認。

(地域構造・人口)

広域分散型の地域構造であり、全国平均の2～3倍の都市間距離を持ち、かつ地方部での人口減少が著しいこと。

(鉄道)

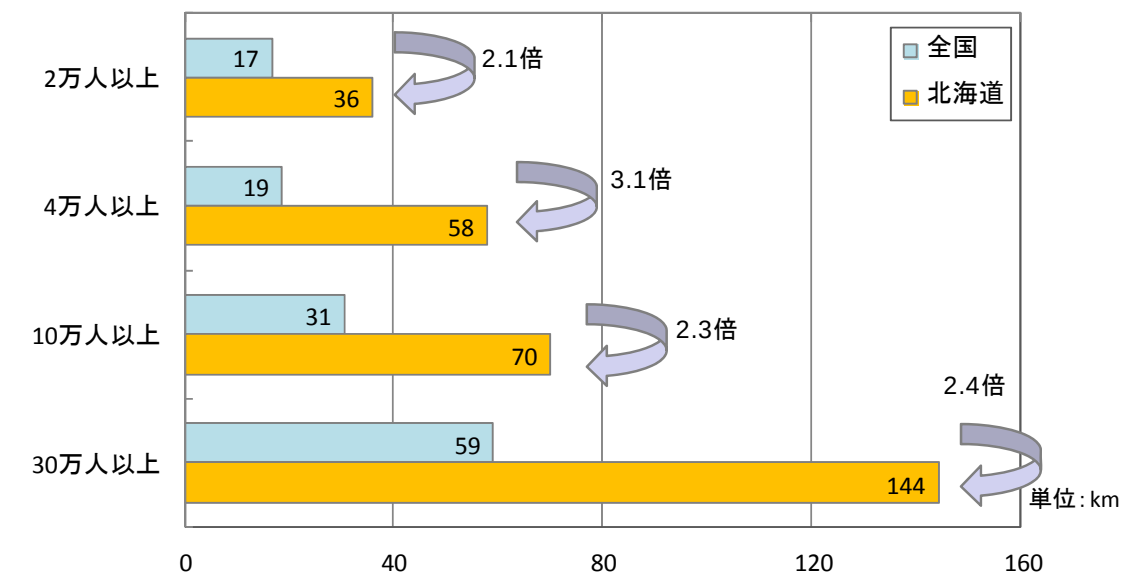
地方鉄道の廃線やJR貨物列車の減便により地域の足に変化が見られること。

(都市間移動)

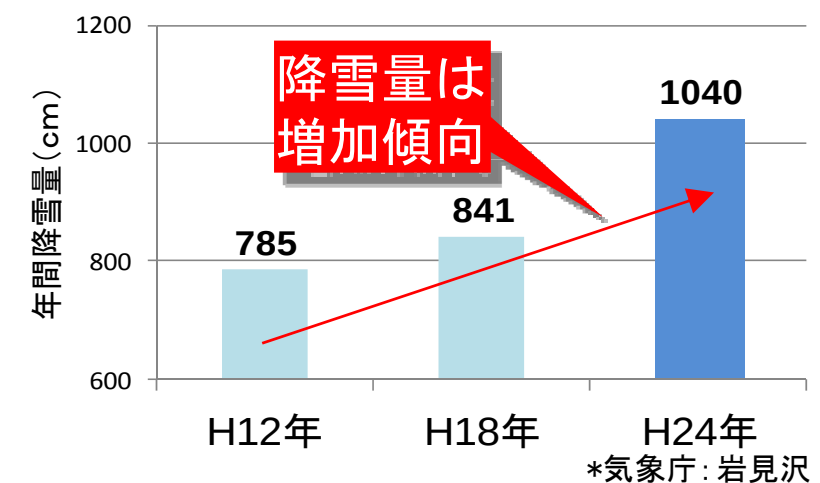
都市間移動に時間を要する北海道において、冬期旅行速度の低下や豪雨・豪雪等による通行止め等が課題になっていること。その一方で広域的な代替ネットワークにより、交通を確保できている事例もあること。

■最寄都市までの平均道路距離(km)

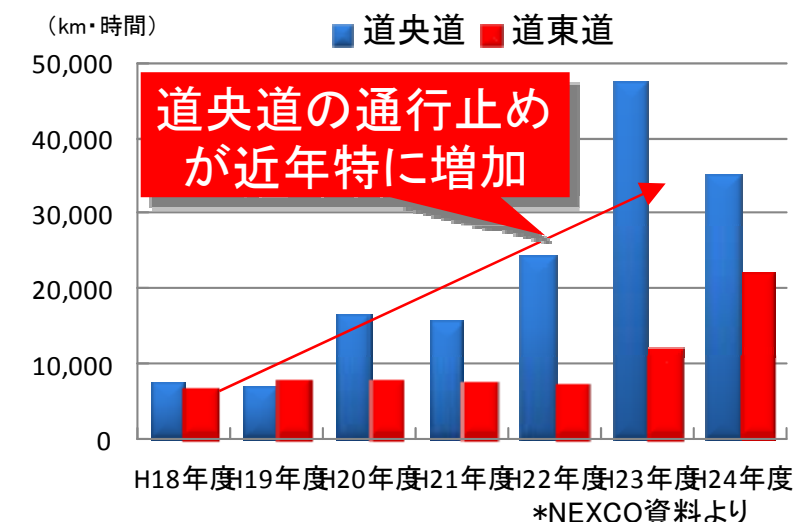
対象人口規模



■年間降雪量の推移



■高速道路通行止め比較

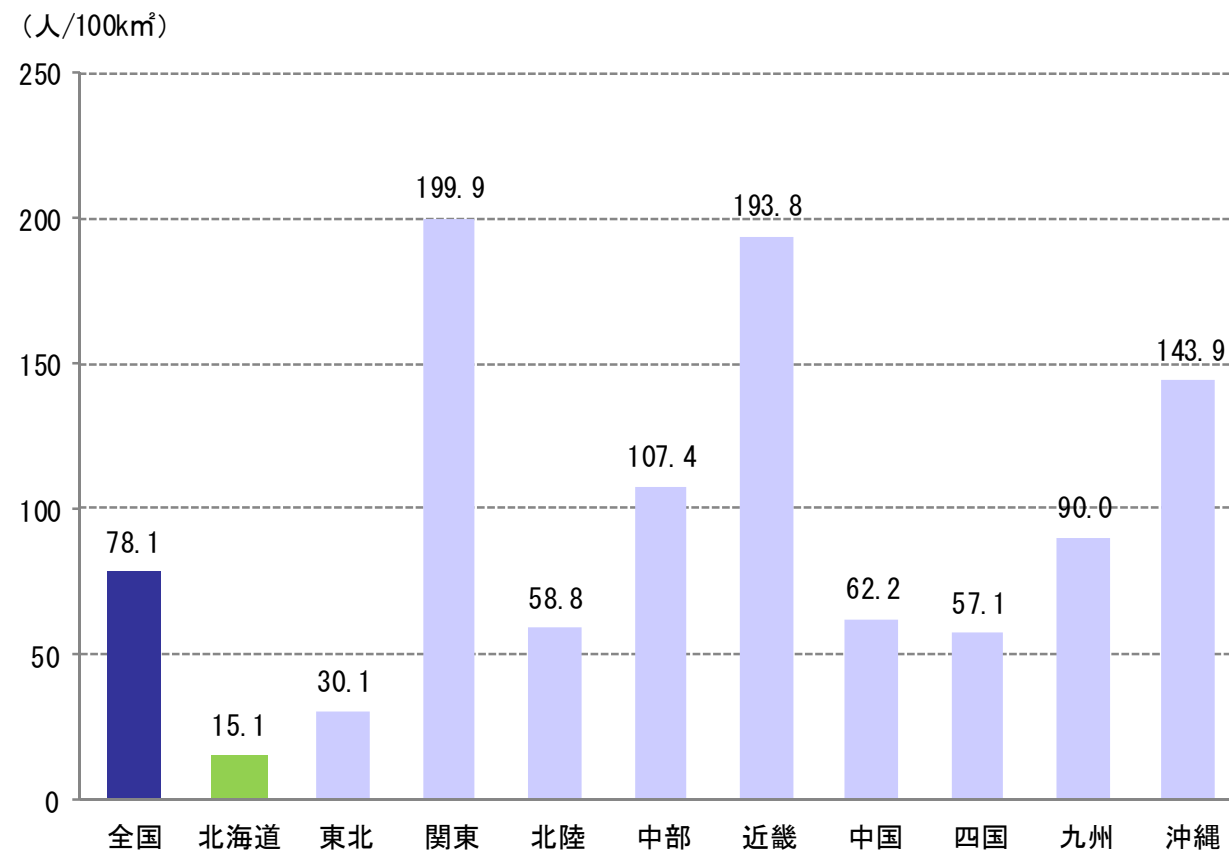


・主に次の現状・課題を確認。

(医療)

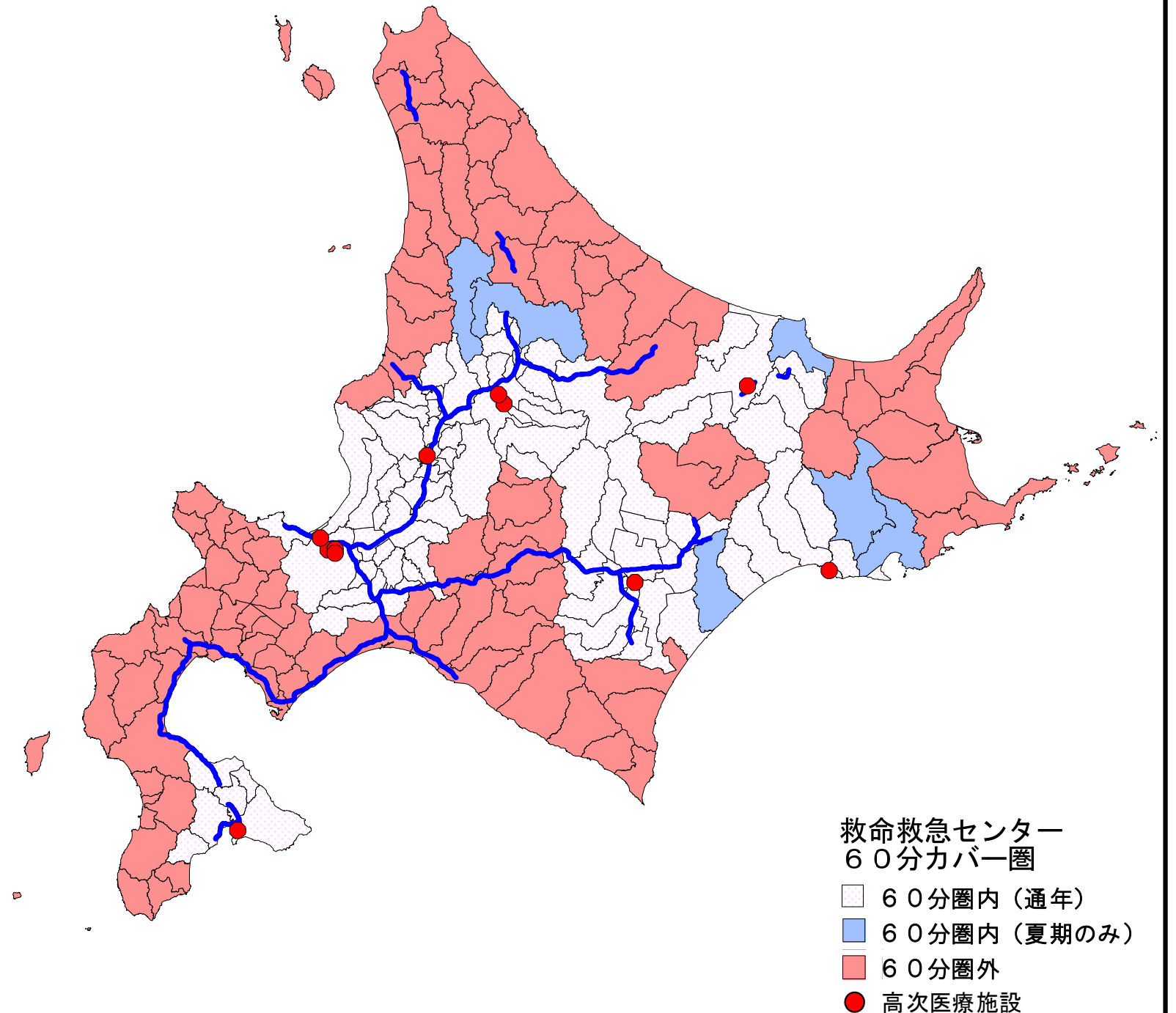
面積あたりの医師数が全国の1/5の水準であり、都市部へのアクセス性の改善を含め、地方部の医療水準の確保が課題であること。

■面積100km²あたりの医師数



資料:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(H22年度)

■高次医療施設への60分カバー圏(季節別)



資料:国土交通省「H22道路交通センサス」を基に作成

・主に次の現状・課題を確認。

(交通事故)

北海道においては、交通事故死者数が依然として多いまま推移していること。

(災害)

積雪寒冷地である北海道において、地震の発生確率が高い地域、活動的な火山が存在する地域、津波により沿岸部の国道が浸水する可能性がある地域等、防災上の課題があること。

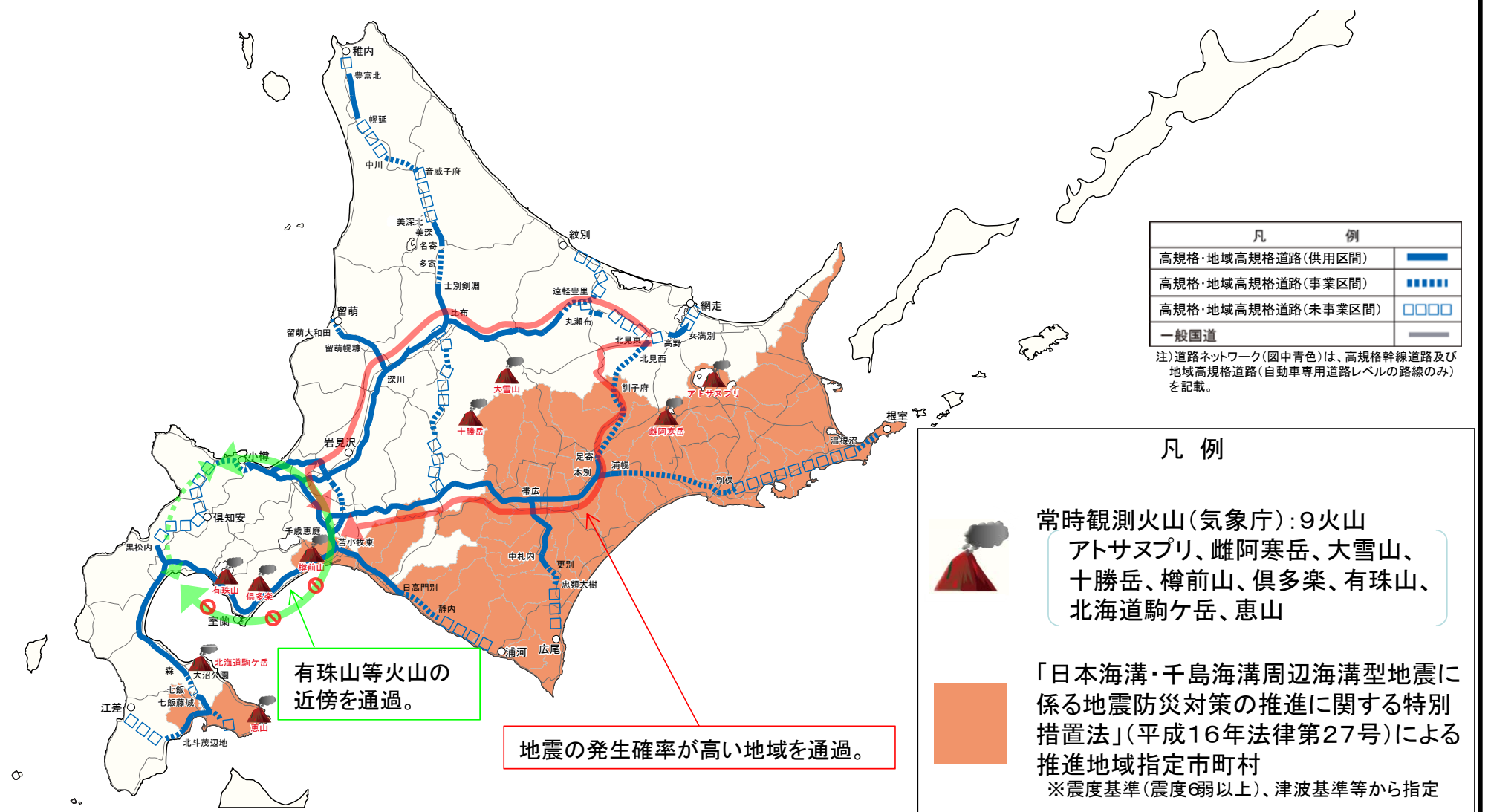
都道府県別交通事故死者数の推移

都道府県別 交通事故死者数の推移

(単位:人)

ランク	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1位	愛知 428	愛知 435	愛知 407	愛知 389	愛知 326	愛知 318	愛知 281	愛知 256	愛知 276	愛知 235	愛知 219
2位	北海道 391	北海道 387	埼玉 322	北海道 277	北海道 286	埼玉 232	北海道 218	北海道 215	東京 215	北海道 200	兵庫県 187
3位	埼玉 369	千葉 332	千葉 305	千葉 266	東京 269	北海道 228	埼玉 207	東京 215	埼玉 207	埼玉 200	千葉 186
4位			北海道 302						北海道 190		北海道 184

北海道の火山災害、地震災害等の危険性

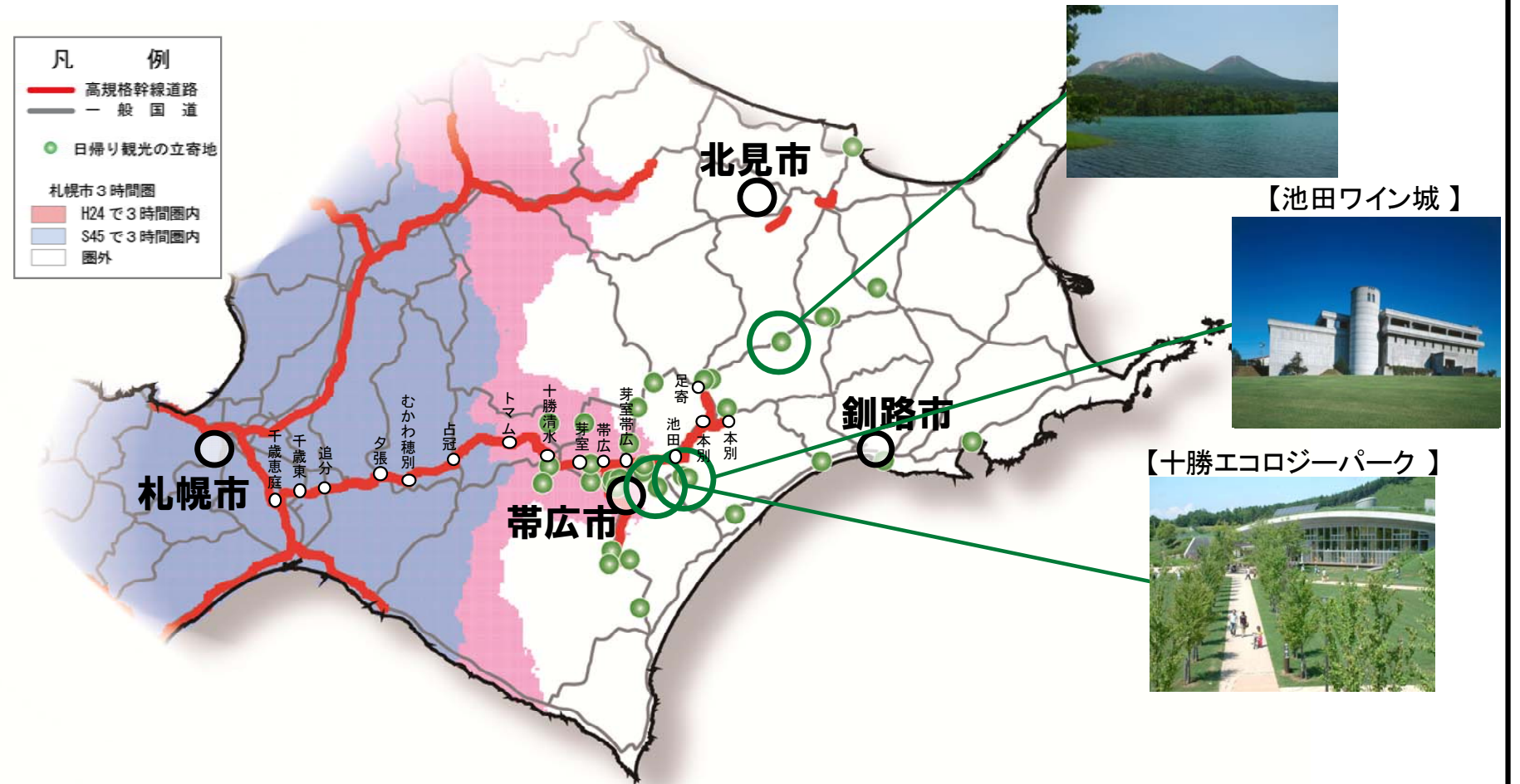


・主に次の現状・課題を確認。

(観光)

雪が降る等の特徴から東アジアを中心としてインバウンド観光に優位性があること。また道路ネットワークの拡大により、日帰り観光圏域も拡大していること。

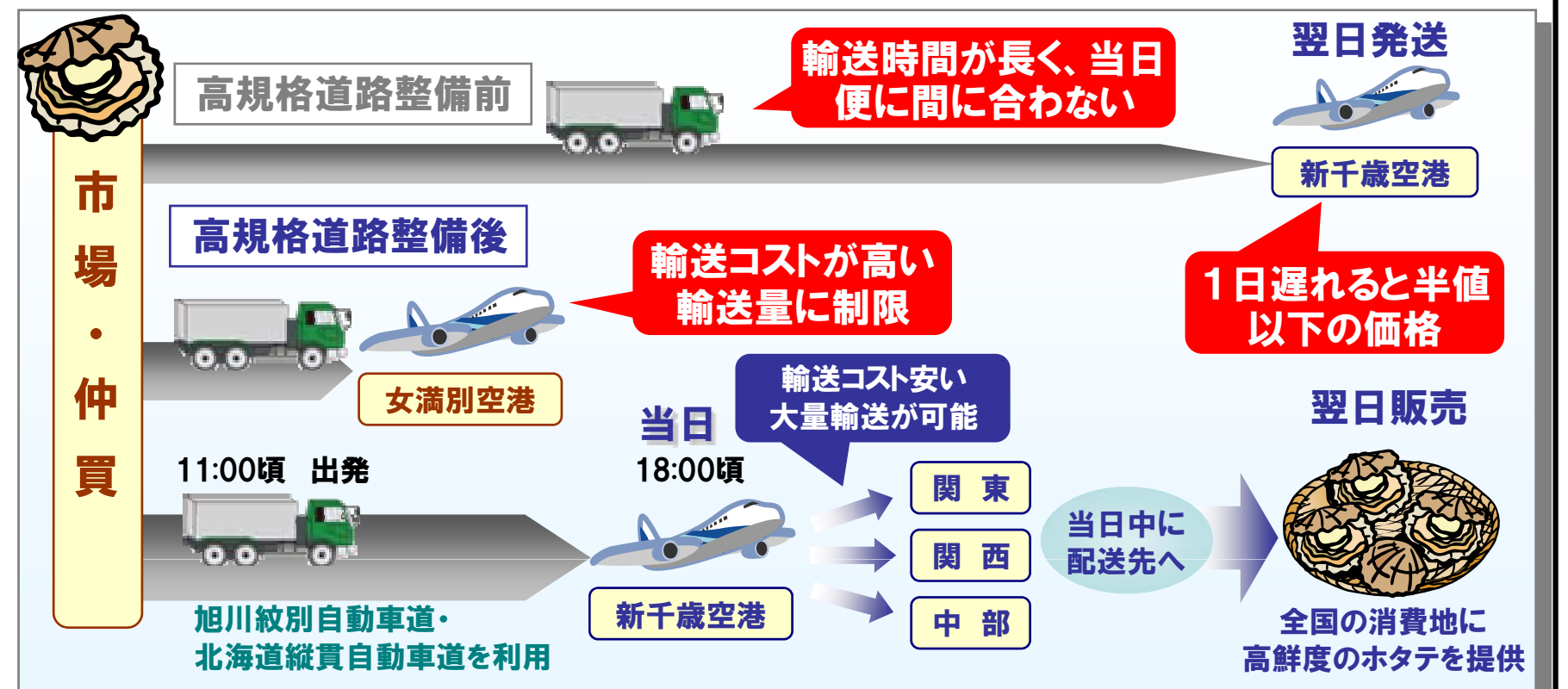
■札幌圏から3時間圏と日帰り観光の立寄り地



(食)

我が国の食料自給率を支える食糧基地であり、移動時間の短縮により、農産品の付加価値等が大きく向上すること。

■オホーツク産ホタテ空輸出荷スケジュールの変化



- ・道路ネットワークの検討にあたっては、これらの地域課題や将来像を見据え、しっかりとした政策目標を設定しながら丁寧に進めていくことが必要。
- ・特に、北海道経済はこの10年間停滞もしくは縮小が続けているが、農水産業や観光といった基幹産業においてですら、そのポテンシャルを十分活かし切れていない状況。
- ・また、先に述べた様々な課題は、東日本大震災以降新たに顕在化したものもあるが、既に前回の議論において指摘されていたものも多数見受けられる。
- ・北海道開発局においては、「選択と集中」や経済性を十分に踏まえつつ、北海道の課題解決とポテンシャルの最大化のため、スピード感をもった対応を強くお願いしたい。